

nyo-eyes

ドアノー&本橋成一の交差するまなざしに瞬殺の巻

巻
ひたひた

ひとりですにたい ⑥終活発売中。

ゴリゴリ出張版だニャ。

TOP入口の外壁を飾る
《パリ市庁舎前のキス》の
ロベール・ドアノー
映画監督としても活躍を
続ける本橋成一

日仏を代表する二人の
写真家の「まなざし」に
注目の展覧会が
堂々実現だニャ!!



交差するまなざしは写真の映像の原点。みんなで見のめ合おうニャ。



日本でドアノーの
著作権代行をして
いるサトウです

ドアノーのことなら
アタイを通しな!!



ドアノーの世界は
キス写真だけに
あらず!!

本展企画協力
サトウさん
(コンタクト代表)



始まり方も
衝撃的だニャ

パリ市庁舎に突撃し
日本でもぜひ開催をと
直訴したのがドアノー
人生の始まりです



パリ市庁舎でドアノー展
を観た瞬間 雷に打たれ
たかのような衝撃を受け

鋭いまなざし。カレー沢薫ニャ。

hitoshinimi2
@hitoshinimi2

登場人物紹介

学芸員ヤマダ
落雷の二重被害に遭った女。

企画協力サトウ
ドアノ一の雷をヤマダに浴びせた。

開閉
一匹が雷に遭うと三匹とも感電。

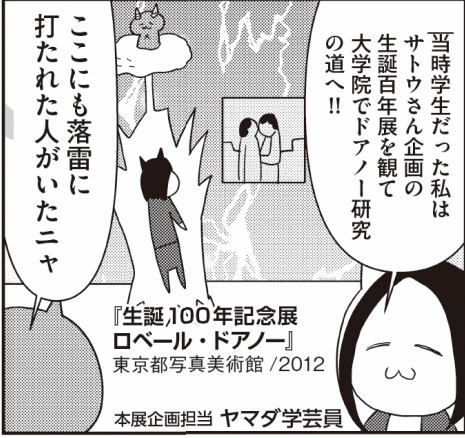
却津山春雄
落雷にも負けずたたききる。

ドアノ一&本橋成一「まなざし」の本質をみんなで探るニヤ。



赤い沼だニヤ

こうして一緒に
展覧会ができるのも
ドアノ一が紡いだ
赤い糸ですね



ここにも落雷に
打たれた人がいたニヤ

当時学生だった私は
サトウさん企画の
生誕百年展を観て
大学院でドアノ一研究
の道へ!!

『生誕100年記念展
ロベール・ドアノ一』
東京都写真美術館 / 2012

本展企画担当 ヤマダ学芸員



ドアノ一って
よく雷を落とす
作家だな

本橋成一も
ドアノ一に憧れて
1991年にパリへ
赴きましたが

行かぬば!!



パリの名物写真
おじさんだな

ドアノ一は著名な
写真家となった後も
一貫してパリの庶民の
姿を撮り続けました



本人的には
面白くないニヤ

普通に会うより
面白い逸話が
できたな

結局生煎
会えず



ドアノ一の写真集
『バーカウンターの連中』
が託されていたそうです

しかし飛行機の遅れで
対面は叶わず
待ち合わせ場所には
「カウンターの輩には
気をつけたまえ」という
メモとともに

すべての労働者と労働猫に捧ぐ。「本橋成一とロベール・ドアノ一
交差する物語」展、9月24日(日)まで開催! 2階展示室にて!!

このニヤン画は? モーニング(講談社)発どこへでもの漫画家兼コラムニスト、カラー沢薫のデビュー作&初期代表作『クレムリン』(講談社)出張版だニヤ。ニヤオ(なお、最新代表作『ひとりでしにたい』はコミックDAYS(講談社)で終活連載中。単行本はもちろん講談社から第10巻まで発売中だニヤ。



photographer カレー 沢薫
 @rosia29



人々に寄り添い
 その時代でなければ
 撮れない写真を撮る

そういう点も共通
 してる気がしますね



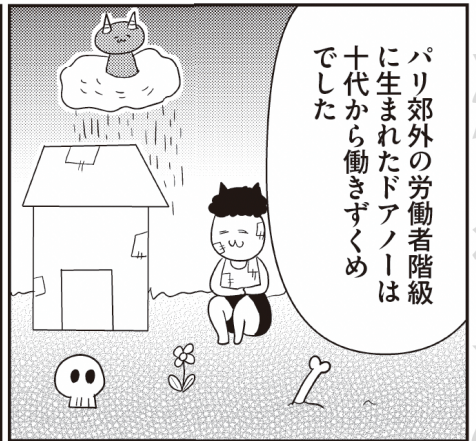
ドアノーと本橋の
 共通点って何だニヤ？

いつの時代も変わらぬ
 人々への「まなざし」
 でしょうか

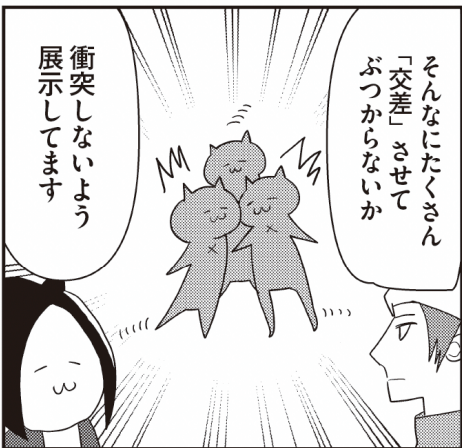


本橋は実家が都内の
 書店で お父さんが
 卒業記念にカメラを
 贈ってくれたり

情操教育に熱心な
 家庭に育ちました



パリ郊外の労働者階級
 に生まれたドアノーは
 十代から働きずくめ
 でした



そんなにたたくさん
 「交差」させて
 ぶつからないか

衝突しないよう
 展示してます



二人の写真家が
 生み出す物語の交差
 被写体となった人々
 の物語の交差

作品と鑑賞者の視点と
 想像力の交差——
 「交差する物語」には
 3つの「交差」が込めら
 れています

会期中、本橋監督作品を1階ホールにて上映予定。写真も映画も、本橋のまなざしにとことん迫ってみよう。最新情報はウェブサイトをチェック！

作者紹介 長州出身の倒(討)幕派作家。モニング講談社の新人賞に本名「無題」で応募した作品が最終選考であえなく落選するもほぼ即連載決定。カレー沢薫「クレムリン」として作家デビューを飾る。爾来、以来大谷翔平に先駆けて(漫画家と)コラムニストの二刀流で世界を翔ける。趣味はスマホでゲーム(推定)。

編集部だより ドアノーと本橋成一。二人とも著名な写真家だけど、似てるかな？どこが似てるんだろうと一瞬思ったんですが、作品をあれこれ比べてみると、国籍や世代を超えてなんだか似ている。不思議なものです。すぐれた作家たちのあたたかですどい「まなざし」をTOPで「交差」させてみてください(F)

学芸員も協力者も赤い糸で結ばれた展覧会、サンダーポルトだニヤ。

ドアノーマは連日パリを
拠点に撮り続けましたが
本橋はテーマを決めたら
時間をかけて対象を追究
するタイプです

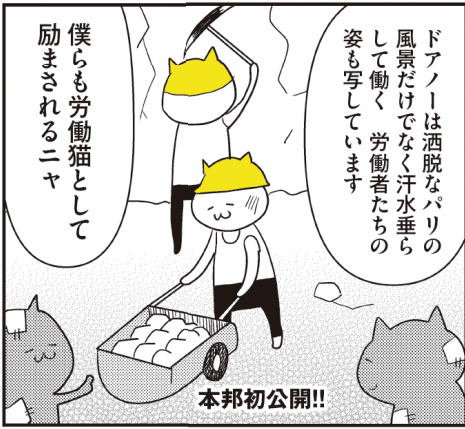


国内に留まらず
チヨルノービリまで赴き
現地の人々と寝食を共に
して作品を制作し

※チェルノブイリ



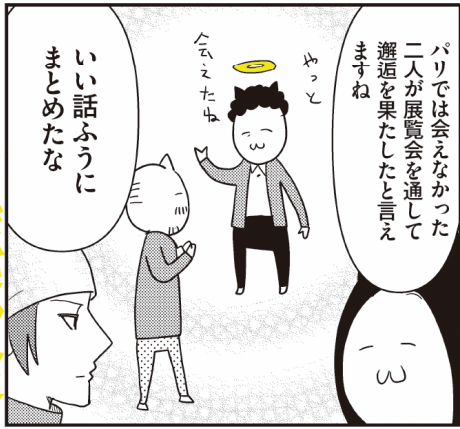
ドアノーマは洒落なパリの
風景だけでなく汗水垂ら
して働く、労働者たちの
姿も写しています



本邦初公開!!

僕らも労働猫として
励まされるニヤ

パリでは会えなかった
二人が展覧会を通して
邂逅を果たしたと言え
ますね



いい話ふうに
まとめたな

あえて言わせて
もらおうと二人とも
すごく写真が巧いとい
うのも共通点



写真展を初めて観る人
にも「写真っていいな」
と思える展覧会になっ
ていると思います

ぜひ「交差」しに
来てニヤ

譲り合いの精神を
持ちましょう



落雷同志

東京都写真美術館副館長就任会見2023「はじめまして、オノです」の巻。